



黒滝村男女共同参画等基本計画

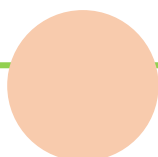
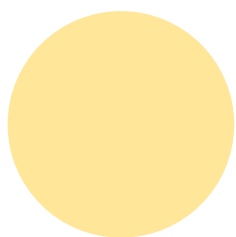
(2025～2029)



令和7年（2025年）3月

目 次

黒滝村男女共同参画等基本計画の策定について	… 1
黒滝村の基本情報	… 2
基本理念・基本目標	… 3
黒滝村の男女共同参画の現状と取組みについて	
1. 役割を尊重しながら「互いに支え合う」村づくり	… 4
2. 多様な生き方を受け入れ「挑戦できる環境」づくり	… 5
3. みんなが「安心して暮らせる」支え合う仕組みづくり	… 6
施策の方向性について	… 7



黒滝村男女共同参画等基本計画の策定について

策定の趣旨

黒滝村は奈良県の中央に位置し、自然豊かな環境の中、過疎化・少子高齢化や移住者の増加等に伴い、家族形態や地域との関わり方が著しく変化しています。このような変化の中、男女共同参画社会の構築による人間性の尊重という村づくりに向けて、村と村民、事業者がそれぞれの立場で果たすべき役割を明確化し、連携して取り組むことが求められています。

特に深刻な人口減少問題への対応を主な目的として、小さな村だからこそできる、都市部では薄れてきた地域の繋がりを生かしつつ、男女が共に尊重し、より心身共に健やかに暮らせることに焦点を絞った計画として、「黒滝村男女共同参画等基本計画（2025～2029）」を策定しました。

計画の位置づけ

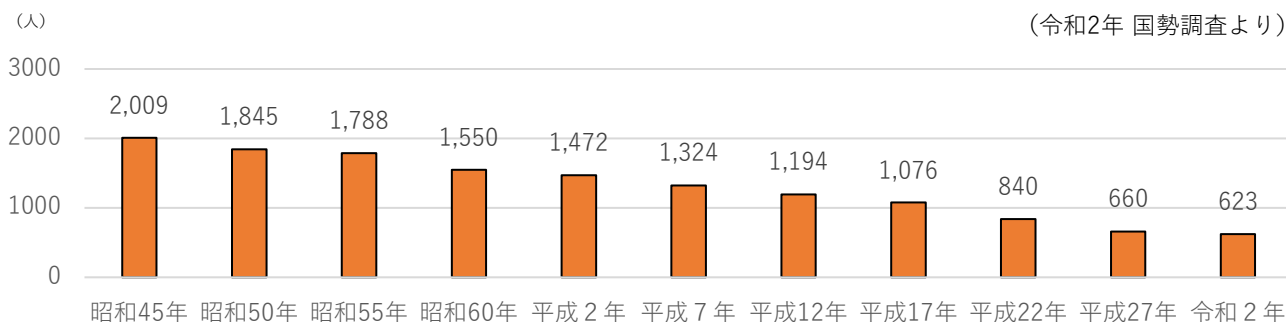
1. 「男女共同参画社会基本法」第14条第3項の規定に基づき、本村の男女共同参画に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、その基本的な考え方と施策の方向性を示す計画です。
2. 「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」第2条の3第3項に基づく、本村における「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護のための施策の実施に関する基本的な計画」を含みます。
3. 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」第6条第2項に基づく、本村における「女性の職業生活における活躍の推進に関する施策についての計画」を含みます。

計画の期間

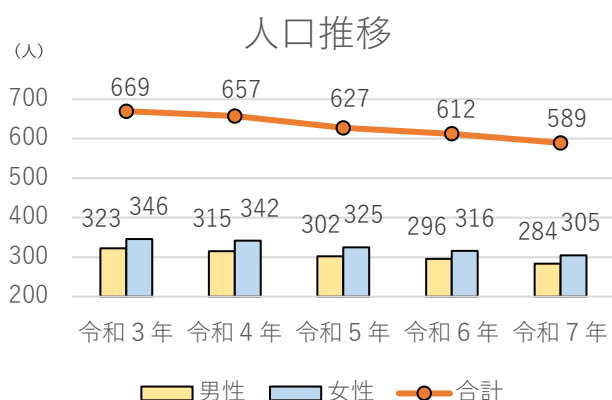
本計画はの計画期間は、令和7年（2025年）4月1日から令和12年（2030年）3月31日までの5年間を期間とします。

黒滝村の基本情報

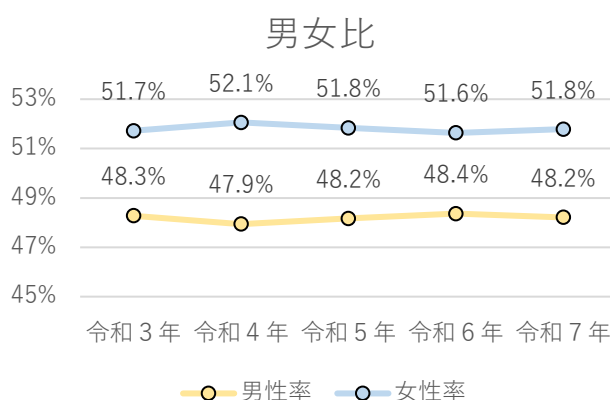
人口推移・高齢者率



黒滝村の人口は、昭和45年の2,009人から年々減少しており、令和2年には約30%となる623人となりました。

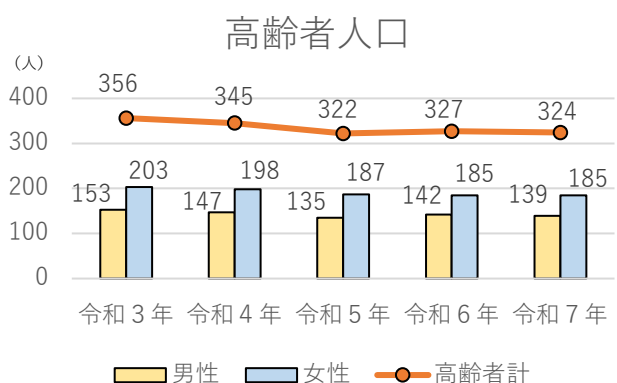


(1月1日現在 住民基本台帳より)

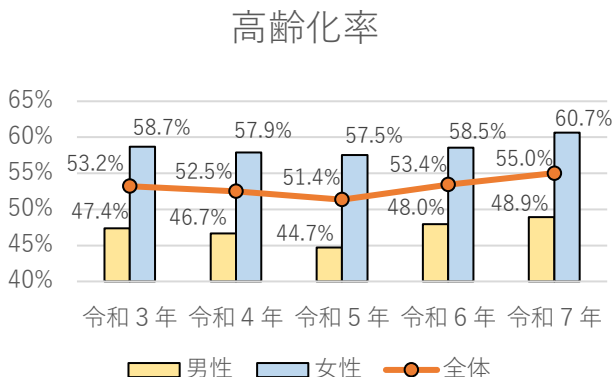


黒滝村の人口は男性、女性共に減少傾向ですが、男女比については、ほぼ横ばいで推移しています。

令和7年1月1日現在の人口は589人、男女比は男性48.2%（284人）、女性51.8%（305人）です。



(1月1日現在 住民基本台帳より)



高齢者人口は男性、女性共に減少していることから、黒滝村の人口推移と比例していると考えられます。

高齢化率については大きな変化が見られないことから、村全体の人口が減少していることが推測できます。

基本理念

支え合い、受け入れ合いながら、 誰もが安心して暮らせる村へ

○「支え合い」

地域内コミュニティの中で住民の役割分担ができており、その良さを活かしながら、おたがいに協力し合う社会を継続していきます。

○「受け入れ合い」

これまでの習慣を尊重しつつ、新たな時代への変化（女性の進出や移住者の増加）にも柔軟に対応できる村づくりを目指していきます。

○「誰もが安心して暮らせる」

性別に関わらず、高齢者、子育て世代、移住者、すべての村民が安心して生活できる環境をつくっていきます。

基本目標

● 1. 役割を尊重しながら「互いに支え合う」村づくり

現状の役割分担を大切にしながらも、性別に関わらず支え合える環境づくりの整備を図ります。

- ・ 地域の役割分担を活かしつつ、負担が偏らない相互協力を促進
- ・ 地域活動への男女の参画をより円滑にする仕組みづくり

● 2. 多様な生き方を受け入れ「挑戦できる環境」づくり

男女の性別関係なく新しい挑戦ができる機会を増やし、だれもが活躍できる村にします。

- ・ 女性の進出を評価し、さらなる多様な活躍の場を支援
- ・ 村の地域産業（林業・農業・観光など）における男女の新しい関わり方を模索
- ・ 若者の移住が定着しやすい仕組み（企業支援など）を整備

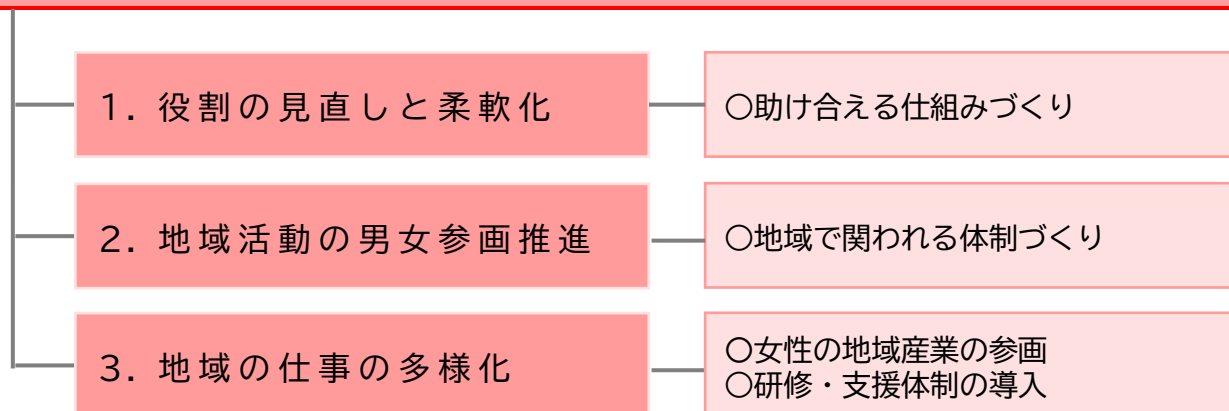
● 3. みんなが「安心して暮らせる」支え合いの仕組みづくり

人口減少・高齢化の中で、だれもが安心して暮らせるコミュニティの維持が必要です。

- ・ 高齢者、子育て世帯への地域ぐるみの支援体制を強化
- ・ 防災、災害時の支援（避難所運営・安全対策など）に男女の視点を反映
- ・ 村全体で見守り、助け合いの仕組みを作り「顔の見える地域づくり」を継続

黒滝村の男女共同参画の現状と取組みについて

1. 役割を尊重しながら「互いに支え合う」村づくり



● 現状

地域の自治会では、各地域において役割分担が定着しており、円滑な地域運営がされています。男女それぞれの役割を尊重しながら、互いに支え合う地域コミュニティの維持が行われています。

村内での仕事について、林業従事者や観光業などでも、男女の特性を活かした形で雇われています。

● 今後の取組み

1. 役割の見直しと柔軟化

- 地域コミュニティが継続していくために、負担が一方に偏らないよう、お互いに助け合える仕組みを検討

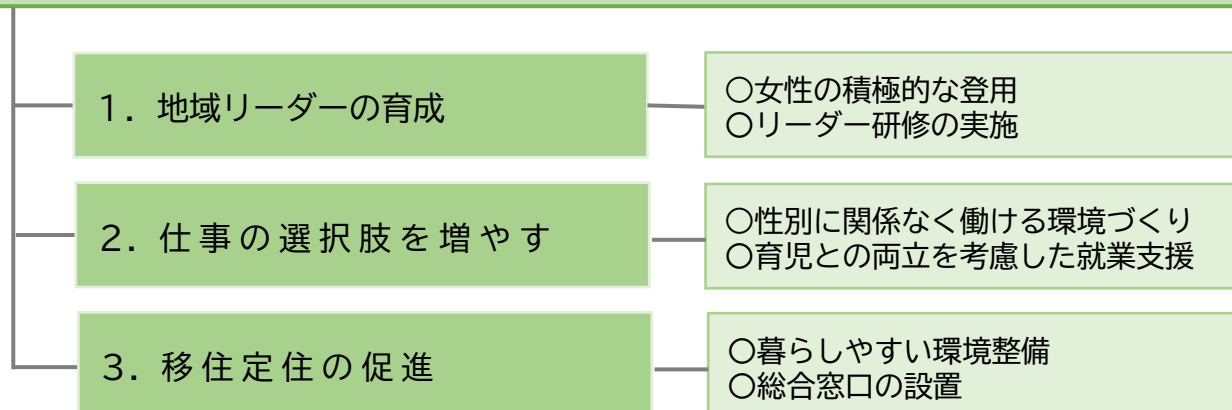
2. 地域活動の男女参画推進

- 自治会などの活動に、より幅広い世代・性別が関われる体制づくり

3. 地域の仕事の多様化

- 女性の地域産業（林業・農業・観光など）への参画を進めるための研修・支援体制の導入

2. 多様な生き方を受け入れ「挑戦できる環境」づくり



● 現状

村役場、教育委員会及び国民健康保険診療所等における、女性の管理職の割合33%（課長補佐相当以上の人数、18人のうち女性は6人）となり、少しずつ女性の進出が進んでいます。（令和7年1月現在）

林業や観光業など、地域での産業においても女性のかかわりが増えてきています。村外で働く人が多く、定住者の定住促進策が求められています。

● 今後の取り組み

1. 地域リーダーの育成

- 村の行政や地域運営に女性の視点を取り入れるため、積極的な登用と研修の実施
- 村内でリーダーとして男女ともに活躍できる場を広げる

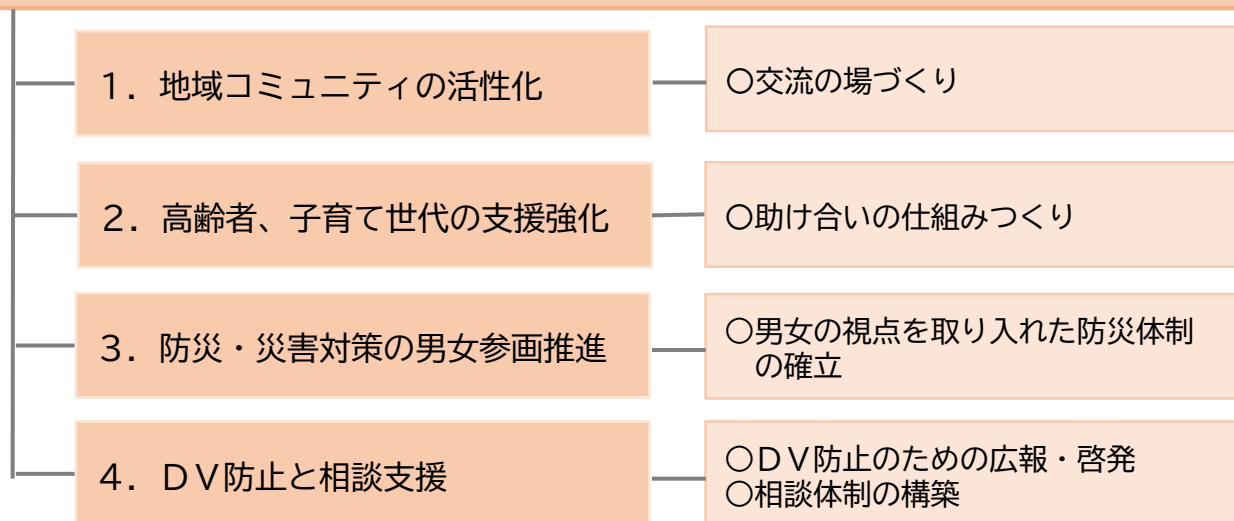
2. 仕事の選択肢を増やす

- 男女の性別関係なく、働ける環境づくりや、リモートワーク環境の整備、副業・企業支援などの充実
- 育児との両立を考慮した就業支援

3. 移住定住の促進

- 女性や若者が暮らしやすい環境（住居支援、子育て支援など）を整え、地域住民と移住者の交流イベントの実施
- 仕事と暮らしに関する総合窓口の設置

3. みんなが「安心して暮らせる」支え合う仕組みづくり



● 現状

過疎化・少子高齢化の進行に伴い、日常生活及び災害時に配慮が必要となる方においても増加している傾向にあります。

都市部と比べ、近隣の人々と顔が見える昔ながらの地域コミュニティが存在していることから、村民が自ら高齢者や子どもを見守り、男女を問わずに地域で相互に協力しあう「共助」の風土が根付いています。

通いの場（サロン・いきいき百歳体操等）においては、地域の女性が中心となって運営・活動されています。

● 今後の取組み

1. 地域コミュニティの活性化

○住民同士が交流できる場を増やし、孤立を防ぐ

2. 高齢者、子育て世代の支援強化

○世代を超えた助け合いの仕組みづくり（見守り活動の充実）
○買い物や移動の支援（送迎サービスや買い物サービスの充実）

3. 防災、災害対策の男女参画推進

○避難所運営における男女の視点の反映（女性専用スペースや防犯対策の充実）をするとともに、災害時における女性の参加を推進

4. DV防止と相談支援

○村内外の相談窓口の周知徹底（役場、警察の連携）
○DVやハラスメントに関する啓発活動（パンフレット設置や広報誌への掲載など）の実施



〈基本理念〉

支え合い、受け入れ合いながら、
誰もが安心して暮らせる村へ

黒滝村においては、昔から地域コミュニティの中で男女の役割分担が自然に確立されており、村の暮らしを支える重要な要素となっています。

その一方で、村議会議員や教育長、委員会長、自治会区長等において女性が登用されるなど、少しずつ女性の進出も進み現在活躍されています。

また、男女を問わずに地域で相互に協力しあう「共助」の風土が根付いている現状を踏まえる必要があると考えます。人口の減少が進む中で、これまでの良さを活かしつつ、多様な生き方を認め、より柔軟で支え合える地域づくりが求められています。

このことから、変わることを強制して矯正するのではなく、不足しているものを補い、「**男女が共生できる村を目指す**」ことを施策の方向性として定めます。



黒滝村男女共同参画等計画

令和 7 (2025) 年 3 月

編集・発行 黒滝村保健福祉課

〒638-0292 奈良県吉野郡黒滝村大字寺戸 7 7 番地

TEL 0747-62-2031 (代表) FAX 0747-62-2569